

黒崎仙峡

黒崎仙峡は、広田半島の先端に位置する岬です。近くの駐車場から、日本の太平洋沿岸北部に1,000キロメートルに渡ってのびるハイキングコース「みちのく潮風トレイル」の一部に沿って少し登った先にあります。途中、トレイル起点付近に位置する伝説に名高い神功皇后を祀って創建された大きな神社の分社である小さな赤い神社とその鳥居を通り過ぎます。地元の伝承によると、漁師たちはこの沿岸の神社のそばを通る際、船の帆を降ろして航海の安全と豊漁を祈ったそうです。

その後、道は海に向かって突き出すいくつもの断崖絶壁の縁端に沿って蛇行します。これらの崖は、陸地の一部が崩壊し、波によって削られて形づくられました。ここを通る際は、微妙なバランスで崖の端に乗っているいくつかの直径数メートルの大岩をお見逃しなく。伝説によると、これらは天狗（日本の民間伝承に登場する鼻の長い強力な妖怪）がお手玉のように操って遊んでいたものだそうです。そんな重い物を動かすなんて想像するだけで疲れてしまうという方は、駐車場の近くにある、太平洋の景色を楽しみながら湯に浸かって疲れを癒すことができる温泉をご利用ください。